

## ◎伊予灘ものがたり 南予きずな旅



12月  
末引退の  
観光列車予土線を走る

12月5日、愛ある伊予灘線を走る観光列車「伊予灘ものがたり」が予土線の宇和島駅から松丸駅間を走りました。

えひめ南予きずな博の一環として開催されたもので、近永駅では太鼓集団「魁」による演奏や、北宇和高校の生徒によるジャムなどの販売、ポニーとの記念撮影などのおもてなしが行われました。

## ◎鬼北の里山の自然冬の探鳥会



双眼鏡を手に  
野生動物を学ぶ

12月12日、奈良川河川敷で「鬼北町里山の自然冬の探鳥会」が行われました。

鬼北町トレッキング協会・山下武会長の案内のもと、この日は10種類以上の鳥を発見。参加者たちは、双眼鏡を手に「かわいい」「大きい」などと、嬉しそうに鳥を目で追っていました。また、野生動物の生態についての学習も行われました。

## ◎愛治公民館 あいじ寺子屋



みんな  
で集まり  
楽しく体験

12月25日から28日までの間、愛治公民館が子どもたちの長期休暇の居場所づくりとして企画した「あいじ寺子屋」が開講されました。

寺子屋では、フィンランドのスポーツ「モルック」の体験や海外に住む愛治小学校の先輩とのオンラインセッションなどが行われました。

## ◎鬼北町防災訓練



地域防災の  
向上を  
目指して

12月5日、鬼北町防災訓練が実施され、三島地区の自主防災組織に加入する地域住民らが、三島小学校でコロナ禍における避難所設置・運営などの訓練に取り組みました。

鬼北町防災訓練は、これまで3年ごとに実施していましたが、今年度から公民館区ごとに持ち回りで毎年実施することになりました。

## ◎松山地方気象台長と意見交換



連携を強化し  
災害に備える

12月8日、鬼北町役場で金田芳彦松山地方気象台長と兵頭町長による意見交換が行われました。

意見交換では、金田台長が「地域防災支援業務」「気象防災アドバイザー」などについて説明。兵頭町長は、警報時等に町が行う防災の対応状況を伝えるとともに、警報の運用について要望を行い、課題解決に向けた意識の共有を図りました。

## ◎本は友だち 本屋へ行こうプロジェクト



お気に入りの  
本を選び  
読書に親しむ

12月24日、日吉中学校の生徒が明屋書店広見店を訪れ、お気に入りの1冊を選びました。

3年目の取組となる「本は友だち本屋へ行こうプロジェクト」によるもので、初めて町内の中学生を対象にして実施されました。選ばれた本は、各自で読み終わった後、各学校の図書室に置かれます。